

スマートシティ戦略部・令和6年度部局運営方針

大阪スマートシティ戦略ver.2.0を踏まえ、住民のQOL向上と大阪の都市競争力の強化につなげるため、スーパーシティ構想とデータ駆動型社会の実現に向けての取組やデジタルサービスの早期実装、スマートヘルスシティの実現をめざします。

重点テーマ1：大阪広域データ連携基盤によるスーパーシティ構想とデータ駆動型社会の実現

大阪で展開される様々なエリアプロジェクトをデータで繋ぎ、スマートシティの府域全域への展開を図るため、データ駆動型社会の実現に不可欠な社会インフラである大阪広域データ連携基盤（ORDEN）を運用し、関連施策を推進します。

〔主な取組〕

- 大阪・関西万博に向け、データ利活用による建設工事現場内外の移動円滑化や駐車場のダイナミックプライシング（価格変動制）の取組を推進
- データ提供、利用を促進し、公民の様々なデータの掛け合わせにより、多様なサービスの創出を推進
- スーパーシティの成果を全国に横展開させていくという制度趣旨をふまえ、大阪広域データ連携基盤の広域共同利用を推進
- 新たな規制改革提案によるスーパーシティ構想のさらなる充実

重点テーマ2：デジタル改革の加速による住民サービスの向上

住民に身近な公共サービスのデジタル化を中心に、事業部局や市町村等と連携した具体的なサービス実装をめざします。

〔主な取組〕

- 行政サービスの広域総合ポータルmydoor OSAKA（マイド・ア・おおさか）において、堺市でのサービス開始をファーストケースとした府内市町村への展開を進め、住民が便利なサービスを楽しむ環境を整備
- 府内市町村のデジタル格差の解消に向け、システムの共同調達やデジタル人材の確保等、市町村DXを積極的に支援
- 大阪スマートシティ・パートナーズ・フォーラム（OSPF）において、市町村ニーズの高い分野における複数企業と複数市町村による課題解決プロジェクトやサービス・ビジネスモデルの実証により、府内市町村でのサービス展開を図るプロジェクトを推進

重点テーマ3：万博を見据えた「健康と命」をテーマとした世界トップレベルのスマートヘルスシティの実現

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする2025年大阪・関西万博までに、超高齢社会のスマートシティモデルで世界のトップランナー「大阪スマートヘルスシティ」となることをめざし、関連施策を推進します。

〔主な取組〕

- 最先端のデジタル技術が健康づくり等に活かされる次世代スマートヘルス分野のスタートアップの支援
- 次世代スマートヘルス分野のスタートアップ支援拠点都市の指定に向けた取組を推進
- 高齢者が健康で便利に生活できるように、デジタル技術を活用した公民連携サービスプラットフォームの運営を行うスマートシニアライフ事業の推進及び万博レガシーとした民間企業による本格事業化に向けた検討を実施